

市指定文化財<天然記念物>

せんどんじ おおむく 宣頓寺の大椋

指定日 平成元年3月30日

所在地 菊池市泗水町住吉 上住吉



大椋は、合志氏の菩提寺である宣頓寺の境内にあり、胸高の胴回り7.8m、枝張りは東西18.5m、南北15m、樹齢800年以上と推定される。昭和43年(1968)に熊本県緑化推進委員会から、「明治百年記念木」に指定された名木である。

御堂の庭先約8mにある大椋は、現在幹の根元は大きな空洞になっているが、低地で幸い周りを住宅に囲まれ、台風の被害にも守られており、時には鳥が実を食べる姿を見ることがもできる。

現在、堂宇には本尊として貞享4年(1687)作の木彫地蔵菩薩坐像と、室町時代作と伝わる韋駄天像2体が納められている。

境内西側には、元龜3年(1572)年に建立された、天正13年(1585)竹迫城落城後^{たかぼ}に没した合志親賢の逆修碑^{ぎやくしゅうひ}と、その翌年に没した息子合志高重の供養碑や五輪塔など、合志一族の塔碑群がある。